



安全運転を心がけよう

エプロン通信員 島袋 ミチ子

今年もようやく梅雨が明け、毎日暑い日が続いております。皆様どうお過ごしでしょうか。

私は免許を取って5年になります。初めての運転の日、主人、娘、息子を乗せて買い物へ行きました。初心者の運転する車に乗るのは怖くて疲れたと思いますが、主人からの「思ったより上手だね」の言いつても安心しました。私は「自動車学校の指導教官の教えどおりに運転してるだけよ」と笑いました。今でも車に乗るときは、初心の気持ちを忘れずに安全運転に気をつけて家族や友人を、乗せて運転しております。

今年、娘も免許を取りました。娘の運転する車に乗せてもついていると、自分が運転しているときには分からなかった、道路の危険さがよく分かります。我如古交差点を通るときなんかは、「交差点で車が多いから危ないね」と娘と話しています。他にも、夜に時々片方しかライトの点いていない車にあついてもあります。ウインカーを出さずに突然右折する車や、車線変更する車もあります。急ぎ目の前に割り込んでくる車

もあります。運転する者は、人の迷惑にならないように気をつけたいものです。

私の住む我如古地域で注意したいと思うことがあります。中部商業向かいにある真境名歯科医横の車道が狭い割には、車両の往来が激しく、大変危険です。特に登校時になると志真志小学校へ向かう児童生徒の通学路となつていますので、いつ交通事故が子ども達の身に起こるか分かりません。

もう少しで夏休みが始まります。子ども達が外で遊ぶことが多くなります。事故の無い安全な宜野湾市になるように安全運転を心がけましょう。



茶ぐわーゆんたく 87

宇地泊の真砂の浜

うちどまり真砂子でいーだる紛らしゆる御月紛らしゆる浜の真砂子
(大意) 宇地泊の浜の真砂は白く、昼は曇り空でも日が照っているように人の目を疑わせる。夜は暗夜でも月夜のように人の目を疑わせる。浜の白い真砂のその美しさよ)

このように琉歌「宇地泊節」(読み人知らず)にて讃えられた美しい浜辺、真砂の浜の美しい情景は、私たちにかつての宇地泊の豊潤な記憶を呼び起こしてくれまます。宇地泊はその古称である「うちみな」(内港、もしくは内湊)に見て取れるように、古くから

海との関わりが深い、宜野湾では唯一の半農半漁の集落としても知られています。

しかし宇地泊にも容赦なく「鉄の暴風」が吹き荒れました。しかも宇地泊の集



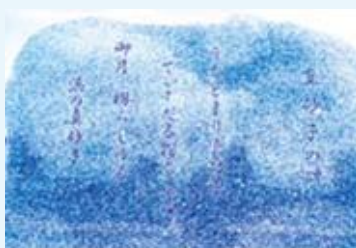
宜野湾マリーナ「真砂子の碑」(2011年撮影)

落には「キャンプブーン」という基地まで作られてしまい、宇地泊の浜辺では射撃訓練が行われるようになってしまいました。

キャンプブーンの返還後、宇地泊は住宅街や商業地として目覚しいまでの発展を遂げ、平成19年には宜野湾マリーナに「宇地泊節」の歌碑である「真砂子の碑」が宇地泊区自治会によって建立されました。宇地泊の浜には訓練場などではなく、やはり青い海がよく似合う。

最後になりますが、地域文化の継承を実践された宇地泊区自治会に深く敬意を表したいと思います。

(文責 清水史彦)



琉歌「宇地泊節」(2011年撮影)

「宜野湾市史」へのお問い合わせ
教育委員会文化課 ☎093-44330